

## 事業計画書

事業名	沼津を写真で残す。沼津カメラ部																			
場所	沼津市内																			
実施予定期間	平成29年 7月 1日 ~ 平成30年 3月30日																			
日程	実施項目・作業項目																			
	<p>実施項目</p> <p>②Facebook ページ リアルタイムでの情報発信、部員、写真募集の場として利用</p> <p>②写真、活動の配信をするにあたりまちづくりファンド採択事業の「沼津非公式観光ウェブサイト」を活用、相乗効果による事業の向上を図る。</p> <p>③カメラ部部員募集 基本沼津市民を部員として募集、市民が沼津を記録していくコミュニティを作る。 募集方法としてカメラのキタムラ等カメラ店へのチラシ設置、知人を介しての口コミ、SNSでの募集、沼津非公式観光ウェブサイトでの募集。</p> <p>④街の写真館と共同企画でカメラ教室開催 街を見てきた地域の写真館（つじ写真館様）と共同でカメラ教室を開催、街の情報を聞くとともに撮影した写真をプリントし展示してもらう。</p> <p>⑤沼津スナップ撮影会開催 沼津の知られざる撮影スポットを撮影会を通して紹介し記録していく。</p> <p>⑥写真展開催 撮影会などの活動で撮った写真を発表する場を作る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>実施内容</th> <th>人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>部員募集チラシ作成</td> <td>制作者1名</td> </tr> <tr> <td>8月～</td> <td>カメラ部部員募集スタート</td> <td>目標20名</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>カメラ教室開催</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12、1月</td> <td>沼津スナップ撮影会開催</td> <td>スタッフ2名</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>写真展開催</td> <td>カメラ部員全員</td> </tr> </tbody> </table>		実施月	実施内容	人員	7月	部員募集チラシ作成	制作者1名	8月～	カメラ部部員募集スタート	目標20名	11月	カメラ教室開催		12、1月	沼津スナップ撮影会開催	スタッフ2名	2月	写真展開催	カメラ部員全員
実施月	実施内容	人員																		
7月	部員募集チラシ作成	制作者1名																		
8月～	カメラ部部員募集スタート	目標20名																		
11月	カメラ教室開催																			
12、1月	沼津スナップ撮影会開催	スタッフ2名																		
2月	写真展開催	カメラ部員全員																		
事業効果	<p>今後変わっていく街の今を写真での撮る事で沼津の記録として残していく事が出来る。また身近な等身大の街を発信する事で県外からの移住を考えている方の情報収集の場としての利用の可能性があると共に市民に対しても新たな沼津の発見の場となる。</p> <p>各地区にある街の写真館と共同で教室、撮影会を開催する事でより深い街の撮影が可能である。</p> <p>カメラ好きの写真撮影場所として県外からの撮影者の誘致をする事が出来る。</p> <p>2017年 カメラ部員 20名 2018年 カメラ部員 50名 2019年 カメラ部員 100名</p>																			

※評価の視点については、募集の手引きを確認してください。

公益性	お祭りやイベント、風景写真では無いので街中心部だけでなく沼津市内全域の情報、文化、景色人の発信が出来、今まであまりヒューチャーされていない場所や情報を発信する事が出来結果地域の活性化につながる。
発展性	街をみんなで記録、発信する場の提供が主である事から収入面では撮影会やカメラ勉強会などの参加費からの確保しか出来ずウェブサイト制作やチラシ作成、講師代、写真展開催などの費用の算出が課題であったが、このファンドによる補助金を活用することで内容の充実した事業を展開する事が出来る。
地域性	撮影会などの開催時に地域の有識者や写真館さんに街についての歴史、文化を話していただく事でより深い写真撮影が出来るだけでなく知識も継承をしていく、酒蔵、港、農業、産業など沼津特有の仕事を撮影することで人と街をつなぐ事が出来る。
必要性	今後の街の発展とまちづくりには市民が如何に住んでいる街に興味を持つかが重要であり、それは一過性のイベント興味を引くのではなく普段の身近な生活に中に見つける事が大切であると考え。カメラ、写真は今ではスマートフォン、コンデジなどによって身近な記録媒体としてのツールになっており誰でも個人で発信する事が出来るが拡散に限りがある。そんな意欲的に記録、発信していきたい市民の共有の場としてのコミュニティが必要であると考え。
先導性	風景、イベントなどの写真の発表やコンテストはあるが身近な街を記録し発信している場は非常に少ない、市民が日常的に記録する事が出来まとめる場があることで多くの情報収集が出来資料としての内容も濃く価値は高いもを作る事が出来る。
継続性	沼津カメラ部の周知を図る事で部員を増やし撮影会などの企画の増加と共に参加費の確保と増収による活動費の確保を継続的に行うと共に、カメラメーカーや企業の協力を受けていくなど継続的に活動を進める事が出来る仕組みを作っていく。